

休館 資料整理のため、12月1日(火)は、図書館をお休みします。

新刊

児童書

にんじやいぬタロー

(3~5歳向け)
 渡辺 陽子 作
 (講談社)

ある日、ケンタのうちに風呂敷を背負ったあやしい犬がやってきた。その犬・タローは、殿様を探しているという。ケンタとタローは殿様を探そうと、忍者修行を始めるが…。



一般書

ちよぼ 加賀百万石を照らす月

諸田 玲子 著
 (新潮社)

前田家の礎は利家とまつ。そして側室「ちよぼ」によって築かれた。能登に五重塔を建立し、月光菩薩のように慕われた女傑・ちよぼの人生の決定的瞬間を描いた連作短編。



一般書

おうち備蓄と防災のアイデア帖

島本 美由紀 著
 (パイインターナショナル)

地震、豪雨、台風など、自然災害が多い日本。日常生活に防災という視点を加えて、おうち備蓄を始めよう!備えておきたい7つの食品を示し、レシピや使いきるコツを紹介。もしもの時に役立つ防災クッキングとアイデアも収録。



一般書

CAボーイ

宮木 あや子 著
 (KADOKAWA)

パイロットの夢に近づくべくCA採用試験を受け、合格した治真。実は彼の父は、航空事故を起こし引責したパイロット。けれど、その事件にはおかしなところがあって…。



編集後記

飛行機の進歩は多くの場合、より速く、より高く、より遠くに飛ぶことを目的としている。そういう意味ではヘリコプターは非常に風変りな飛行機といえる。ヘリコプターという乗り物は飛行機としては欠点だらけである。ジェット旅客機は時速900キロ以上で空を飛び、何百人という旅客を1万キロ以上も離れた場所へと運ぶことができる。それに対してヘリコプターは時速200キロ少々、速度で15人程度しか乗ることができず、東京から大阪に飛ぶと燃料が足りなくなる。しかし、ヘリコプターがダメな乗り物で、役に立たないという人間は誰もいない▼今月号の表紙写真のとおり、ヘリコプターは空中で静止することができ、そこから垂直に飛び、狭い範囲に着陸し、そこから垂直に飛び立つことができる。これはジェット旅客機にはできないことで、救急医療や救難活動においてヘリコプターはなくてはならないものとなっている▼速くもなく、遠くにも飛べないが、世の中にとってなくてはならないものとなっているヘリコプターを見ていると一芸に秀でることの大切さを教えられる。欠点だらけに見えても、他の誰にもできないことができる。それを突破口に人生を切り開くことができる。むしろ、平均的になんでもできたりする方が、却ってより良いものが現れるとお役御免になって消えていくことが多い。我が道を行くヘリコプターを見ながら自分の持ち味を生かしたオンラインワンの町づくりとは何かを今後も考えていきたい。